

佳作 私の仕事です



アーマード ファキー ヒタヤトゥッロー
AHMAD FAQIH HIDAYATULLAH
国 籍 インドネシア
職 種 建設機械施工
実習実施者 ティー・エス・ロード有限会社
監理団体 東京中小企業海外業務開発促進協同組合

私は日本で道路のアスファルト工事の仕事をしています。毎朝まだ空が少し暗い時間に起きます。静かな朝の空気をかんじながら、ゆっくり準備します。お弁当を作って、水筒にお茶を入れて、仕事の服に着えます。

外に出ると、冷たい風が顔に当たります。少し眠いですが、今日もがんばろうと心の中で思います。そして、車で現場に向かいます。道の上に朝の光が少しずつ広がっていくのを見ると、気持ちが落ちつきます。

げんばにつくと、仲間と元気にあいさつします。おはようございますというこえがかさなって、一日が始まります。まず、その日の仕事のせつめいを聞いて、安全についてかくにんします。それから、きかいのじゅんぴやざいりょうのうんばんをします。

アスファルトはとてもあつくて、あつかうのは大変です。重いものをはこんだり、しゃがんで作業したりするので、体に強い力がひつようです。特になつは、太陽が強くて、とてもあついです。汗が止まらず、何度も水を飲みながらはたらきます。

でも、どんなに大変でも、仲間と一緒ににはたらくと、

ふしぎと力が出ます。誰かが困っていると、すぐにたすけますし、自分もたすけられます。その中で、しんらいやきずなが少しずつ生まれています。

アスファルトのにおいきかいの音、そして仲間の声。それらが一つになって、現場だけのとくべつな世界を作ります。私はその中で、自分のやくわりをしっかり果たしたいと思っています。

仕事がおわったあと、きれいに完成した道路を見ると、とてもかんどうします。でこぼこだった道が、なめらかで美しい道にかわります。この道は自分たちが作ったと思うと、心があたたかくなります。

その道を車がしずかに走っていくのを見ると、小さいさな誇りをかんじます。人々が安全にいどうできるのは、この仕事があるからだと思います。

この仕事は決して楽ではありません。しかし、とても意味のある仕事です。私はこれからも、この道を作る仕事を続けたいです。

毎日、少しずつですが、前に進んでいます。自分の手で作った道のように、私の人生もまっすぐに続いくと信じています。

また、仕事をしている中で、日本の技術やルールの大切さを学びました。時間を守ることや、安全を第一に考えることは、とても重要です。細かいところまで気をつけることで、大きな事故を防ぐことができます。最初は分からないことも多かったですが先輩たちがやさしくおしえてくれました。そのおかげで、今では少しずつ自信を持って仕事ができるようになりました。